

森林整備Ⅴ

現地実習(海上の森大学実習林)

(間伐等)

日時：平成25年11月30日（土） 10:00～15:00

講師：あいち海上の森センター職員・海上の森の会

概況



森林整備Ⅴ

あいち海上の森センター職員・海上の森の会

11月30日は天気晴朗にして風もなく、穏やかな日差しの中でノスリのハンティングが観察されるという海上の森ならではの朝のひとときから始まりました。

1時限目は、海上の森の会の大澤講師と平野講師から、これまで海上の森で行ってきた森づくりについて、概要説明と現地実習がなされました。

《1時限目》 森林整備Ⅴ 現地実習 サテライト周辺のヒノキ林

今日は、2007年から行っている実際の森づくりについて8年間の成果を現地で見てもらいます。我々の森づくりは、ボランティアが行う森づくりであり、いろいろな意見を出し合いながら整備を進めてきました。整備してきた人工林は、いろいろな意味で海上の森を代表するヒノキ林といえます。我々は、この区域の地質や地形、自然環境を考えながら、全体を8つの区域に分けて、ヤマザクラやアカマツ、シイ・カシというシンボリックな木を生かしつつ整備を行ってきました。外から森を見て美しいと思える整備、また、内から外を見ても美しいと思える整備を心がけてきました。

《2時限目》 森林整備Ⅴ 現地実習 遊歩施設内の森

2時限目は、受講生が今後作成する「海上の森大学実習林整備計画」箇所である遊歩施設をセンター職員の説明を受けながら現地実習を行いました。

現地では森の入り口から繭玉広場までを赤い区域とし、繭玉広場を越えて展望台までを青い区域とし、展望台付近の人工林を黄色い区域としてまとめた基本的な区域分けが示されました。また、遊歩施設内の自然環境として、アオゲラが開けたと思われる巣穴、ムササビの巣箱、リスの小道、本年度にセンサーカメラがとらえたニホンジカやイノシシなどが紹介されました。